

令和8年

11月15日

開場：午後1時 / 開演：午後1時30分 / 終演：午後3時

若柳総合文化センター

栗原市若柳字川北古川83番地 TEL0228-32-6600

入場無料

入場券が必要です。

入場券は、令和8年9月15日(火)、各総合支所市民サービス課、栗原文化会館、若柳総合文化センターで配布いたします。



くりはら文化劇場

高山広ひとり芝居

『劇励』

～ベスト・オブ・ザ・ベスト～

照明：岩城 保 / 音響・舞台監督：亀井 俊彦

写真：阪上 恭史

「シンガーソングライターのようなアクターディレクター」こと、高山広が約40年に渡って創作・演じ続けている一人芝居シリーズ「劇励」は、人間はもとより動植物たちやモノや概念、自然現象等のキモチにまでなりきりながら「忘れかけていた大切な心や思い」を笑いと涙のうちにメッセージし続ける珠玉の短編集です。

今回の「くりはら文化劇場」公演では、700本近くある作品の中から、多くの支持を得てきた人気作品や今こそ伝えたいメッセージ性の高い作品など、選りすぐりの名作ばかりを数本集めました。題して『劇励』～ベスト・オブ・ザ・ベスト～ ステージを支えるのは、第33回読売演劇大賞優秀スタッフ賞に輝いた照明家・岩城保氏をはじめとする優秀なスタッフたち。十数年間、東日本大震災復興支援公演にも尽力してきた熱きスタッフ陣「チーム劇励」と共に、栗原市の皆様に心をこめてお贈りする笑いと涙、感動のステージ。幅広い層の皆様にご覧いただき、老若男女みんなでいっしょに是非「テッポウツナイディアバイン! (手を繋いで行きましょう!) 愛してま〜〜〜」を叫びましょう!

高山 広

俳優、劇作家、演出家、絵本作家
(タカヤマヒロシ) みやぎ絆大使 栗原ドリームアンバサダー

1992年から始めた自作自演の数本立て短編集『高山広のおキモチ大図鑑』がヒット。2011年3月の震災を機に復興支援お手伝い公演『劇励』を立ち上げる。作品数は約700。様々な人間や動物、昆虫といった生物はもとより地球上に存在するあらゆる物に魂(ソウル)を憑依させ独特の世界を構築。「一人芝居の概念を変えた」と評され、劇場、学校、飲食店、オフィス…各地各所に老若男女を笑い感動で魅了し続けている。「実在する人物、アーティスト」を描くシリーズではこれまでに、一ノ瀬泰三(写真家)、ルーサー・ヴァンドロス、アレサ・フランクリン物語を披露。特に2019年から再演を重ねるマイケル・ジャクソン物語は各方面で大きな反響を呼んでいる。2024年には中村哲医師の生涯を描く「まごころの虫」を発表、話題となる。2023年一人芝居を元にした絵本「さくらばあちゃんのいる街」を出版。各メディアにて報じられる。

【主な出演作品】

■テレビ NHK朝の連続ドラマ小説『あぐり』『すずらん』『天花』(レギュラー)
TBS日曜劇場『俺たちに明日はあるのか!』(全6話 レギュラー)
『家裁の人』(レギュラー)
TV朝日『家政婦は見た!』

東海テレビ『介護スナックペルサイユ』レギュラー ほか

■舞 台 『ピギン・ザ・ピギン』(主演：森光子/帝国劇場)
ミュージカル『火の鳥』(原作・手塚治虫/松竹座)
KOKAMI@networkVOL3『恋愛戯曲』(鴻上尚史 作・演出/主演：永作博美)

■映 画 『スノーフレーク』『ゾンビ君と盆、踊る』 ほか多数

主催 栗原市教育委員会

お問い合わせ 栗原市教育委員会社会教育課 TEL0228-42-3514